

No.26

2005年5月発行

淀川水系 流域委員会 猪名川部会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

CONTENTS

- 第26回猪名川部会の内容…………… P. 1
- 第26回猪名川部会の説明資料より抜粋…………… P. 3
- 配付資料リスト…………… P. 7
- 猪名川部会 委員リスト…………… P. 8
- これまで開催された会議等について…………… P. 9
- 配付資料及び意見書の閲覧・入手方法・ご意見受付…………… P. 10

平成17年4月14日（木）、第26回猪名川部会が開かれました。



【天満研修センターにて】

第26回猪名川部会の内容

猪名川部会の役割等についての意見交換が行われました。その後、河川管理者より、審議資料1「河川整備計画進捗状況項目（実施）（調査・検討）」を用いて説明がなされた後、委員との意見交換が行われました。

第26回猪名川部会結果報告

庶務作成

開催日時：2005年4月14日（木） 16：00～16：58
場 所：天満研修センター 9階 イベントホール
参加者数：委員10名、河川管理者13名、一般傍聴者81名

1. 決定事項

- ・進捗状況点検項目、WGの設置、現地視察に関して意見や提案がある場合は4月22日までに庶務に意見を提出し、庶務がとりまとめて運営会議に諮る。

2. 報告の概要

①第43回運営会議結果報告、テーマ別部会の委員構成について

- 庶務より、報告資料1「第43回運営会議結果報告」、報告資料2-1「部会所属構成一覧表」、報告資料2-2「部会の委員名簿」を用いて報告がなされた。

3. 審議の概要

①部会の役割と進め方について、検討課題とWG等の設置について

猪名川部会の役割や検討すべき課題、委員会に設立を提案すべきWGのテーマについて、意見交換が行われた。主な意見は以下の通り（例示）。

- ・重要な課題については全体委員会で議論するというのが今回の委員会の基本的なスタンスだ。地域別部会・テーマ別部会・WGでは、全体委員会で円滑な議論をおこなうために、論点の整理を行って頂きたいと思っている。事業進捗点検項目に関しては、全体委員会で議論するのは難しいため、地域別部会で検討して頂きたい（委員長）。
- ・部会に報告される進捗状況項目の選択は、河川管理者に任せっきりでよいのか。
→ 一年度始めには、昨年度と本年度の事業項目を示したいと思っている。年度中であっても、事業内容が変化があれば、その都度、報告する。また、委員会から頂いた意見に対しては、河川管理者の考え方を適宜示していく（河川管理者）。
- ・課題を確認しながら部会を進めていくためにも、A4一枚程度で課題をまとめておく必要がある。また、猪名川の目標像を共有しておく必要もある。
- ・猪名川部会では、治水が一番大事な問題。環境については自然環境委員会の検討内容を部会で説明してもらい、猪名川部会ではまずは治水と利水を中心に検討を進めていけばよいのではないかと。
→ 猪名川下流の水質や流量低下等を鑑みれば、環境について議論すべきだ。
- ・事業進捗状況項目への評価は、年度ごとに行うのか。より長いスパンで行うのか。
→ 明らかなスケジュールを示している事業もあれば、環境関連の事業のように全体のスケジュールを示しつつ当面の事業について報告しているものもある。中長期のスケジュールが出せるものについてはできるだけ出していきたい。委員会からは区別なしに意見を頂きたい（河川管理者）。
- ・事業進捗状況に対する河川管理者の自己評価もあった方がよい。
- ・銀橋狭窄部の開削と余野川ダムを部会のテーマとして扱うべき。猪名川部会では、余野川ダムは効果がないという結論だが、それで議論を終えてよいのか。ダム中止の影響等についても議論をすべき。
- ・ダムだけ議論するのではなく、多田地区の浸水被害をどうするかという問題を考える必要がある。ダムも代替案の一つ。他の代替案を含めて、どういう順番で議論を進めていくかが問題だ。
- ・前期委員会で説明のあった代替案に関して、銀橋開削後になぜ下流の水位が上昇するのか、掘削コストの根拠や積算単価等についても検討課題として残っている。
- ・猪名川部会では、多田地区や下流地域の浸水被害に関する検討（銀橋狭窄部の開削、河道掘削、余野川

ダム等）について議論をする（部会長）。

②事業進捗の説明とその点検について

河川管理者より、審議資料1「河川整備計画進捗状況項目（実施）（調査・検討）」を用いて説明がなされた後、意見交換が行われた。主な意見は以下の通り（例示）。

○治水-14-11「堤防補強（善法寺）」 実施項目

- ・堤防補強事業として、この地区を選んだ理由を教えてください。
→ 地盤調査等の結果、右岸側が旧河川敷の跡で、浸透水や浸食に対して安全度が確保されていないことが判明し、この地区を選んだ（河川管理者）。
→ どのような地盤調査をしたのか等、河川管理者の判断基準マニュアルがあれば提供して欲しい。
→ 淀川堤防補強委員会の資料をお送りする（河川管理者）。

○維持-13-1「樹木の伐採と管理」 実施項目

- ・維持-13-1「樹木の伐採と管理」で、樹木の伐採や伐木を実施しているが、野鳥等の面から見てどうか。
→ 河川の上流の生物相を維持するという観点からすれば、伐採した方がよい。
- ・維持-13-1「樹木の伐採と管理」は、流水阻害の解消が目的の一つだと思うが、同じ観点から、藻川の分派地点に堆積している土砂も除去した方がよい。

○利用-9「迷惑行為の対策」 実施項目

- ・迷惑行為の対策に対して看板を設置して警告しているが、河川敷利用がどうあるべきかについても記載してもらえればよいと思った。

○利用-6「河川保全利用委員会（仮称）」 調査・検討項目

- ・桂川の河川保全利用委員会では、河川敷の占有許可申請が出たものについて議論をしている。ゴルフ等の自由使用については議論をしていない。議論をすべきだ。
→ 河川敷公園が河川の中でどうあるべきかについて占有機関等と議論するのが第一だが、占有されていない地域についてもモデル的に実施してはどうかということも議論している。また、猪名川には自由使用の範囲で野球のグラウンド等として使われている部分もある。こういった箇所については利用実態を調査し、保全利用委員会で意見を頂こうと考えている（河川管理者）。
→ 必要に応じて、保全利用委員会で自由使用についても議論をさせて頂きたい（河川管理者）。

○その他の意見

- ・5年程度先の目標や優先順位が示されなければ、評価できない。全体像がわかるよう整理すべき。
→ できるだけ示していきたい。堤防補強については詳細な調査を行っている区間があり、その中で、どの区間で整備が必要なのか、どういう優先順位で整備を進めるのかを示したい（河川管理者）。

③現地視察について

- ・従来の現地視察はダムの説明が主たるものだったが、導水トンネルやダム湖底の状況、河道掘削や堤防補強地点等、従来とは違う視点での視察が必要だ。
- ・現地視察のポイントを委員会側から指定する必要もあるのではないかと。それが時間的に難しいのであれば、現地視察のポイントをあらかじめ教えておいて頂きたい。
- ・委員で意見交換をした上で現地視察を実施したい。視察ポイントを選んでおいて頂きたい（委員長）。

4. 一般傍聴者からの意見聴取：一般傍聴者2名より発言があった。主な意見は以下の通り（例示）。

- ・過去の現地視察では、委員自身が専門分野について自ら説明することもあり、非常に有意義だった。今回の現地視察でも前委員の経験を活かすということも検討して頂きたい。
- ・余野川ダムの現地に行ってきたが、箕面市道で盛土工事による通行禁止が行われていた。河川管理者は、事業中のダムについて、住民の生活上、防災上、やむを得ない場合を除いて、新たな工事には着手しないと約束しているが、ダム工事専用道路の建設や落石防止工事が行われており、不安だ。
→ 北山筋関係の市道が併設している箇所の法面対策として、斜面が崩れないように対策をしている。河川事業としては新たな工事には着手していない（河川管理者）。
- ・河川敷利用のWGはどうするのか。河川敷では環境に配慮した利用が望ましい。猪名川や淀川下流では、ふるい分けが必要。部会で地元意見を吸い上げて、全体委員会に報告してほしい。

第26回猪名川部会の説明資料より抜粋

■報告資料1より

第26回猪名川部会では、報告資料1「第43回運営会議結果報告」を用いて庶務より説明が行われました。以下に、資料より一部を抜粋して掲載いたします。

第43回運営会議（2005. 3. 30開催）結果報告		2005. 4. 5 庶務発信
開催日時：	2005年3月30日（水）10:00～13:20	
場所：	ぱるるプラザ 6階 第3会議室	
参加者数：	運営会議委員6名（委員長、副委員長、琵琶湖部会長、淀川部会長、木津川上流部会長、猪名川部会長）、河川管理者3名	
検討事項、決定事項	<p>1. 決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別部会は、カラスマプラザ21において、4月24日（日）に「住民参加」部会が13～15時、「利水・水需要管理」部会が15時30分～17時30分の予定で開催される。 ・委員間の意見交換の日程は、現地視察の前に5月に入ってから実施する方向で調整する。 ・次回の運営会議は、ぱるるプラザにて5月10日（火）午前9時30分から開催、第41回委員会は、5月17日（火）16時～19時に開催する。 ・次回運営会議までに、地域別部会とテーマ別部会で、委員間の議論を通じて共通認識を図っていくなかで、WGのテーマ等について検討を進めていく。 <p>2. 審議内容</p> <p>(1) テーマ別部会の委員構成確定およびテーマ別部会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数的にはバランスがとれており、所属していない部会にも出席は自由とする。個別部会での議論が全体でできるように、また、重要なテーマは、委員全員が議論できるように考えていきたい。部会での検討は、新委員との共通理解にたってもらいたいということをお願いしたい（委員長）。 <p>(2) 現地視察の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見書は、提言と意見書の部分、エキスの部分を説明して、意見交換していくのはいかがでしょうか。それから、課題（積み残しの部分）を説明すれば、到達点、課題のイメージがわくと思う。また、できれば懇親会を行いたい（委員長）。 ・勉強会的な形式で半日行い、それから行ってはどうか。 ・その方向で実施させてもらうことでどうか（委員長）。 <p>(3) 委員会規約第8条2項の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同部会に参加した際の出席者のカウントをどうするのか。少なくともカウントの仕方は定足数を満たす必要がある。また、合同部会、単独部会、テーマ別部会では原則として議決を行わない（委員長）。 ・部会等は協議の機関として位置づける。 <p>(4) 会議運営の改善、経費節減の提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会が経費削減を図る必要は大きく、無関心というのはいけない。次回委員会で、委員長から経費削減についての提案を行いたい（委員長）。 ・事前協議の方法を考える必要がある。委員会の際の事前協議は、運営委員会として行うことにしたい（委員長）。 <p>(5) 次回の各地域別部会の議事次第について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業進捗の点検およびWG設置の検討は、各地域部会での共通の審議事項である。 ・部会長にお任せすることなので、本日、決まったことを伝えて欲しい。また、どういうテーマを対象としてWGをつくるかの議論をして欲しい（委員長）。 	

■審議資料1より

第26回猪名川部会では、審議資料1「河川整備計画進捗状況項目（実施）（調査・検討）」を用いて河川管理者より説明がなされた後、委員間で意見交換が行われました。以下に、資料より一部を抜粋して掲載いたします。

○治水-14-11 堤防補償（善法寺）

位置図



善法寺地区

詳細調査実施箇所

平面図



堤防補強実施延長
約 400m

浸透

 侵食

横断面図



【平成17年4月14日時点】

○利用-9 迷惑行為の対策

●主な迷惑行為箇所



●設置看板



【平成17年4月14日時点】

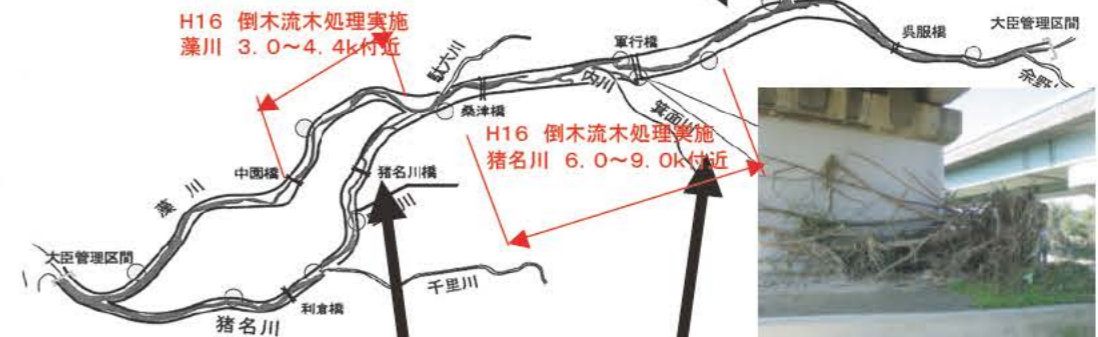
○維持-13-1 樹木の伐採と管理



藻川 4.4km付近



猪名川 9.2km付近



猪名川 4.6km付近



猪名川 8.2km付近



H16 倒木処理作業中
猪名川 7.8km付近

【平成17年4月14日時点】

配付資料リスト

●第26回猪名川部会 配付資料

資料リスト		資料請求 No
議事次第		i26-A
報告資料1	第43回運営会議結果報告	i26-B
報告資料2-1	地域別部会・テーマ別部会委員構成一覧表	i26-C
報告資料2-2	地域部会・テーマ別部会の委員名簿	i26-D
審議資料1	河川整備計画進捗状況（実施）（調査・検討） ※河川管理者提供資料	i26-E
審議資料2	現地視察について	i26-F
その他資料	委員会における今後のスケジュール	i26-G
参考資料1	委員および一般からのご意見	i26-H
参考資料2	脱ダムを阻む「基本高水」 大熊孝氏、大熊孝氏の「脱ダム」治水論を 批判する 福岡捷二氏	i26-I

注：紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP. 10の「配付資料及び意見書の
閲覧・入手方法」をご覧ください。

猪名川部会 委員リスト

2005. 4. 13現在
(五十音順、敬称略)

No.	氏名	対象分野	所属等	兼任状況
1	池淵 周一	水資源・水循環	京都大学防災研究所 教授	琵琶湖部会 利水・水需要管理部会
2	今本 博健	洪水	京都大学 名誉教授 水工技術研究会 会長	淀川部会 利水・水需要管理部会
3	角野 康郎	植物	神戸大学理学部 教授	琵琶湖部会 住民参加部会
4	金盛 弥	洪水	元大阪府副知事	淀川部会 利水・水需要管理部会
5	澤井 健二	河川敷・水面利用	摂南大学工学部 教授	淀川部会 住民参加部会
6	高田 直俊	洪水、 河道形状・土砂移動	大阪市立大学 名誉教授 社団法人 大阪自然環境保全協会 会長	淀川部会 利水・水需要管理部会
7	千代延 明憲	住民連携	流域住民	淀川部会 利水・水需要管理部会
8	本多 孝	住民連携	IPNET-Jインタープリテーションネットワーク・ジャパン 事務局長	淀川部会 住民参加部会
9	村上 興正	生態系、動物、景観	同志社大学 嘱託講師	淀川部会 住民参加部会
10	村上 哲生	水質	名古屋女子大学 教授	木津川上流部会 住民参加部会

●委員長

No.	氏名	対象分野	所属等	兼任状況
-	寺田 武彦	法律	弁護士（元日弁連公害対策委員会委員長） 龍谷大学法学部 教授	-

これまで開催された会議等について

第26回猪名川部会（平成17年4月14日）までに、以下の会議が開催されています。

委員会	琵琶湖部会	淀川部会	猪名川部会
第1回～第6回 平成13年開催	第1回～第8回 平成13年開催	第1回～第10回 平成13年開催	第1回～第6回 平成13年開催
第7回～第15回 平成14年開催	第9回～第20回 平成14年開催	第11回～第20回 平成14年開催	第7回～第17回 平成14年開催
第16回～第27回 平成15年開催	第21回～第27回 平成15年開催	第21回～第23回 平成15年開催	第18回～第20回 平成15年開催
第28回 H16/2/26 (木)	第28回 H16/10/13 (水)	第24回 H16/8/25 (水)	第21回 H16/9/1 (水)
第29回 H16/5/8 (土)	第29回 H16/11/8 (月)	第25回 H16/9/17 (金)	第22回 H16/10/21 (木)
第30回 H16/6/22 (火)	第30回 H16/12/15 (水)	第26回 H16/10/19 (火)	第23回 H16/11/2 (火)
第31回 H16/7/29 (木)	第31回 H17/1/8 (土)	第27回 H16/11/30 (火)	第24回 H16/12/3 (金)
第32回 H16/8/24 (火)	環境・利用部会	第28回 H16/12/18 (土)	第25回 H16/12/23 (木)
第33回 H16/9/29 (水)	第1回～第7回 平成15年開催	ダムWG	3ダムサブWG
第34回 H16/10/25 (月)	治水部会	第1回 H16/7/11 (日)	第1回 H16/8/7 (土)
第35回 H16/11/16 (火)	第1回～第6回 平成15年開催	第2回 H16/7/18 (日)	第2回 H16/9/11 (土)
第36回 H16/12/20 (月)	利水部会	第3回 H16/7/25 (日)	第3回 H16/11/8 (月)
第37回 H17/1/11 (火)	第1回～第5回 平成15年開催	第4回 H16/8/19 (木)	川上ダムサブWG
第38回 H17/1/22 (土)	住民参加部会	第5回 H16/9/23 (木)	第1回 H16/8/3 (火)
第39回 H17/2/5 (土)	第1回～第7回 平成15年開催	第6回 H16/10/4 (月)	第2回 H16/9/3 (金)
第40回 H17/3/14 (月)		第7回 H16/10/18 (月)	余野川ダムサブWG
設立会		第8回 H16/11/10 (水)	第1回 H16/8/11 (水)
発足会	平成13年開催	第9回 H16/12/1 (水)	第2回 H16/9/22 (水)
第1回 合同懇談会		第10回 H16/12/5 (日)	
第1回 合同勉強会	平成14年開催		
シンポジウム		しっかりしてや!! 流域委員会	H16/2/28 (土)
拡大委員会		ファシリテーターとの 検討会	H16/5/15 (土)
提言説明会	平成15年開催	大戸川、天瀬ダム意見交換	H16/9/26 (日)
		丹生ダム意見交換会	H16/9/27 (月)
		住民の意見を聞く会	H16/12/5 (日)

配付資料及び意見書の閲覧・入手方法

以下の方法で資料及び意見書を閲覧、または入手することができます。ただし、以下の点にご注意下さい。
 ・当日会場で部数の関係上、一般傍聴者に配付されなかった資料は、閲覧のみ可能とさせていただきます。
 ・当日会場で一般傍聴者に配付された資料で原本がカラーの資料は、白黒での提供となります。カラーの資料を希望される場合にはコピー代を実費でいただきます。なお、カラー資料についてはホームページ等での閲覧は可能です。

ホームページによる閲覧

配付資料及び意見書は、ホームページで公開しております。

郵送

郵送による配付資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております。（希望部数が多い場合、またカラーの資料を希望される場合はコピー代も実費でいただきますので、予めご了承ください。）ご希望の方は、FAXまたは郵送、E-mailで庶務までお申し込みください。

閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

「意見書」の入手

意見書の送付を希望される方は、氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号と「意見書希望」を明記のうえ、下記までご連絡ください。

※頂いた個人情報については、上記資料及び意見書の送付のみに使用させていただきます。

ご意見受付

淀川水系流域委員会ではみなさまのご意見を募集しています。
ホームページ、E-mailまたはFAXにてお寄せ下さい。

※氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号をご記入のうえ、下記までお寄せ下さい。
 ※寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。

※ご意見を公表する場合には、団体・会社名（または居住地）とお名前も公表いたしますので予めご了承下さい。
 ※ご記入いただいた個人情報については、上記の意見の公表のみに使用させていただきます。

■ホームページ <http://www.yodoriver.org>

■E-mail yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

■TEL 06-6222-5870

■FAX 06-6222-5871

淀川水系流域委員会 庶務
みずほ情報総研（株）



淀川水系流域委員会 猪名川部会ニュース No. 26

2005年5月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

みずほ情報総研 株式会社

.....
研究員：吉岡、篠田、鈴木、熊谷、松本

事務担当：山根

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-2-1 (大阪富士ビル8階)

TEL: (06) 6222-5870 FAX: (06) 6222-5871

E-mail: yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

●流域委員会ホームページアドレス

<http://www.yodoriver.org>

◆ニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局／淀川河川事務所／琵琶湖河川事務所／大戸川ダム工事事務所／淀川ダム統合管理事務所／猪名川河川事務所／猪名川総合開発工事事務所／木津川上流河川事務所／水資源機構 関西支社／滋賀県 土木交通部河港課／京都府 土木建築部河川計画室／大阪府 土木部河川室／兵庫県 土木局河川計画課／奈良県 土木部河川課／三重県 伊賀県民局 等

*ニュースレターは最新号、バックナンバーともに、ホームページでもご覧頂けます。